

# 高速鉄道3号線延伸の進捗状況について

資料5

【横浜市都市整備局都市交通課】

- ・事業の進捗状況
- ・沿線地域を対象としたアンケート調査

# 事業の進捗状況①【概略ルート・駅位置の決定】

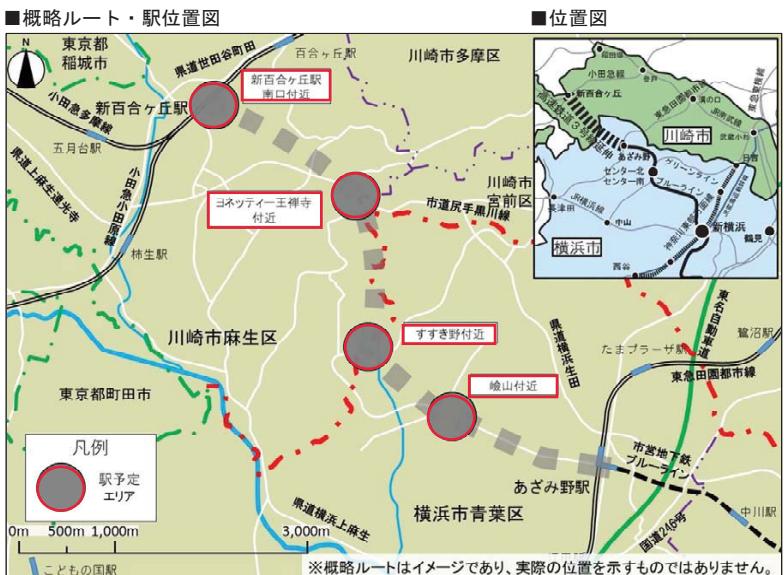
記者発表資料



令和2年1月21日  
横浜市都市整備局都市交通課  
横浜市交通局建設改良課  
川崎市まちづくり局交通政策室

## 横浜市営地下鉄ブルーラインの延伸「あざみ野～新百合ヶ丘」 概略ルート・駅位置が決定しました！

- 横浜市及び川崎市は、横浜市高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）について、平成31年1月に事業化の判断を発表し、早期実現に向けた取組を進めています。
- 市民の皆様に、事業に対する理解を深めていただくため、令和元年8月に本路線に関する説明会を開催しました。また、同年9～10月に川崎市側の有力ルート案の考え方について意見募集を実施してきました。
- このたび、川崎市側のルートについては、地域交通やまちづくりの視点から評価を行うとともに、市民の皆様からの御意見等を踏まえ、総合的に判断した結果、ヨネッティー王禅寺付近を通るルートを選定し、別紙のとおり、概略ルート・駅位置について、両市で合意しました。
- 今後、本路線の概略ルート・駅位置を対象とし、環境影響評価手続の実施に向けた準備を進めています。



### お問い合わせ先

横浜市都市整備局都市交通課長 橋詰 勝彦 Tel 045-671-3515  
横浜市交通局建設改良課長 上杉 知 Tel 045-326-3802  
川崎市まちづくり局交通政策室 担当課長 久木田 直史 Tel 044-200-0147

【裏面あり】

### ■事業概要

整備区間	あざみ野～新百合ヶ丘
整備延長	約6.5km
概算事業費	約1,720億円
ルート・駅位置	新駅4駅（既設あざみ野駅を除く）
事業主体	横浜市交通局（第一種鉄道事業者）
事業スキーム	地下高速鉄道整備事業費補助（想定）
開業	令和12年開業目標（交通政策審議会答申の目標年次）

### ■整備効果

#### (1) 広域的な鉄道ネットワークの形成

- ・横浜と川崎市北部・多摩地域を結ぶ、新たな都市軸の形成
- ・災害等による輸送障害発生時の代替経路の確保

#### (2) 新幹線アクセス機能の強化

- ・横浜市北西部のみならず、川崎市北部・多摩地区など、広い範囲から新横浜駅へのアクセス機能の強化

#### (3) 移動時間の短縮（例）

- ・拠点間アクセスの強化  
新百合ヶ丘～あざみ野 約30分→約10分 約20分短縮（乗換なし）
- ・新幹線アクセスの強化  
新百合ヶ丘～新横浜 約35分→約27分 約8分短縮（乗換なし）

#### (4) 沿線地域の活性化

- ・新駅周辺まちづくりの活性化
- ・ターミナル駅の交通結節機能強化、沿線地域の公共交通ネットワークの強化

### ■これまでの経緯

平成26年度～	事業化に向けた基礎調査を開始
平成28年4月	交通政策審議会答申第198号 (高速鉄道3号線延伸等が位置付けられる)
平成31年1月	横浜市高速鉄道3号線延伸の事業化判断の公表
令和元年8月	横浜市高速鉄道3号線延伸に関する説明会の開催
令和元年9～10月	「川崎市側の有力ルート案（東側ルート）の考え方」についての意見募集
令和元年11月	「川崎市側の有力ルート案（東側ルート）の考え方」についての意見募集の結果及び川崎市の基本的な考え方の公表
令和2年1月	概略ルート・駅位置についての公表【今回】

## 事業の進捗状況②【概略ルート・駅位置の決定】

令和2年1月  
横浜市・川崎市

## 横浜市高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘） 概略ルート・駅位置について

## ■ はじめに

横浜市高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）については、平成31年1月に事業化の判断を発表しました。以降、市民の皆様に事業に対する理解を深めていただくため、本事業の概要や概略ルート・駅位置、今後の事業の進め方等について、令和元年8月に説明会を開催しました。また、同年9月から10月にかけて川崎市側の有力ルート案の考え方について意見募集を実施しました。

このたび、横浜市と川崎市は、市民の皆様からの御意見等を踏まえ、本路線に関する概略ルート・駅位置について協議・調整し、以下のとおり合意しました。

## 概略ルート・駅位置の基本的な考え方

- 周辺の地形や土地利用、交差構造物等への影響を考慮し、地下トンネル構造を基本としたうえで、横浜市高速鉄道3号線における既設のあざみ野駅から、小田急線新百合ヶ丘駅南口付近まで延伸します。
  - 新駅については、駅間隔を横浜市営地下鉄の既存駅と同様の間隔を基本とし、4駅とします。
  - 横浜市側のルートについては、道路下などの公有地を有効活用し、既設のあざみ野駅から横浜・川崎両市の市境となるすすき野付近までを基本とします。また、駅位置については、嶮山付近及びすすき野付近を基本とします。
  - 川崎市側については、北部地域の公共交通ネットワークの充実や、駅周辺の活性化を図るため、ヨネッティー王禅寺付近に駅を設置するルートとします。

## ■ 横浜市高速鉄道3号線の延伸に伴う駅周辺のまちづくりの方向性

- あざみ野駅  
交通利便性を生かし、規制・誘導的手法等により商業・業務・文化機能の集積を中心とする拠点づくりを進めます。
  - 嶺山・すすき野付近  
地域の状況に合わせ、周辺の環境にも配慮しながら、生活拠点としてまちづくりを進めます。
  - ヨネッティー王禅寺付近  
路線バス等の円滑な駅アクセスを可能とする交通結節機能の強化等による川崎市北部地域の公共交通ネットワークの充実とともに、周辺の住環境に配慮しながら、地域資源の活用等による賑わいの創出など、駅周辺の活性化に資するまちづくりを進めます。
  - 新百合ヶ丘駅付近  
民間活力を活かした土地利用転換の誘導や交通結節機能の強化、駅周辺の回遊性向上を目指し、ハード・ソフト両面での総合的な取組により、広域拠点にふさわしいまちづくりを推進します。

## ■ 今後の事業の進め方

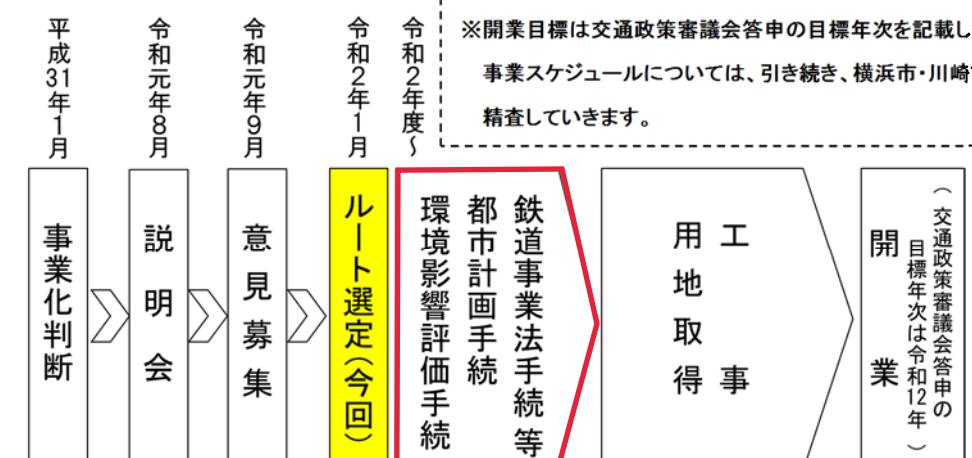
概略ルート・駅位置の基本的な考え方を踏まえ、環境影響評価手続の着手に向けて、条例に基づき、事業の概要や環境への配慮が必要な事項等を記載した図書の作成を進めます。

今後、国や関係者との協議・調整を進めるとともに、環境影響評価や都市計画、鉄道事業法等の手続を経て、早期の事業着手を目指します。

あわせて、本路線の整備効果が最大限発揮できるよう、新駅周辺の基盤整備や沿線のまちづくりに関する取組を推進します。



※ 参考 想定スケジュール



令和2年度（現在）

# 沿線地域を対象としたアンケート調査①（横浜市域）

## «アンケート調査の概要»

沿線地域を対象に日常の交通行動の特性や利用する駅、駅までの交通手段を把握し、本路線開業後の交通環境を検討するための基礎資料を収集するとともに、将来の新駅設置後の利用状況や要望等についてアンケートを実施した。

対象エリア：右図の赤枠内

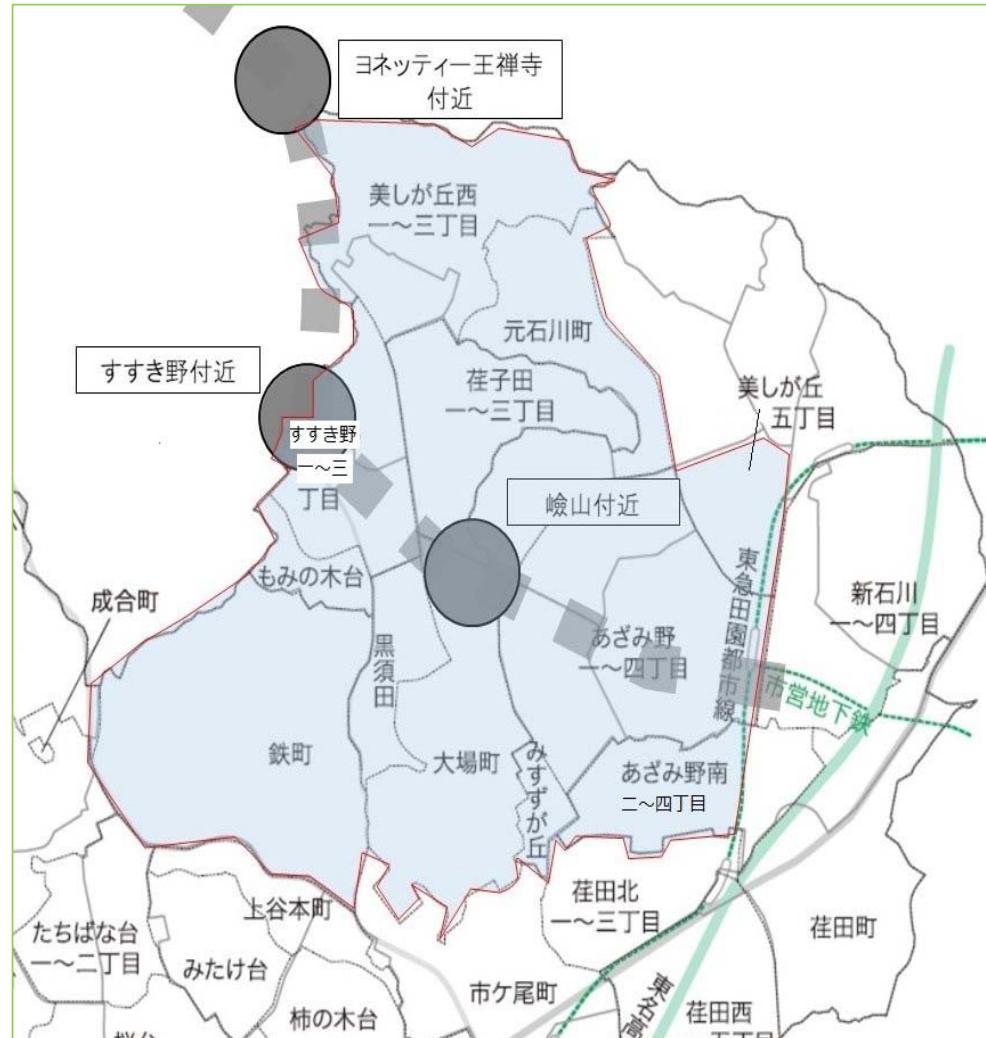
美しが丘5丁目、あざみ野1～4丁目、あざみ野南2～4丁目、元石川町、荏子田1～3丁目、みすずが丘、大場町、黒須田、もみの木台、すすき野1～3丁目、美しが丘西1～3丁目、鉄町

調査対象：5,000世帯（住民基本台帳からの無作為抽出）

調査期間：10月12日から11月2日まで

調査方法：郵送回答+WEB回答

質問項目：個人属性情報（世帯構成、年齢、性別、自動車免許の有無など）  
普段の移動目的別交通行動（通勤・通学、買い物、通院、その他）  
普段の移動手段別交通行動（鉄道、バス、自動車など）  
新駅設置後の利用の意向（どの駅を利用するか、意見・要望など）



# 沿線地域を対象としたアンケート調査②（横浜市域）

## «アンケート調査の結果（概要）»

発送数：5, 000世帯分

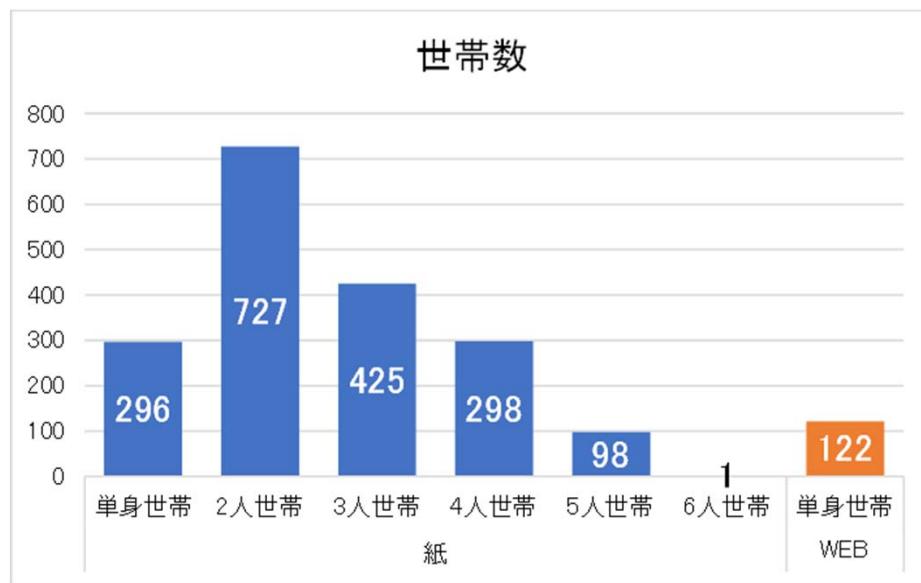
回収数：1, 967世帯（回収率：約40%）

回答数：4, 835人分（2人世帯が最も多く、平均回答世帯人員は2.5人）

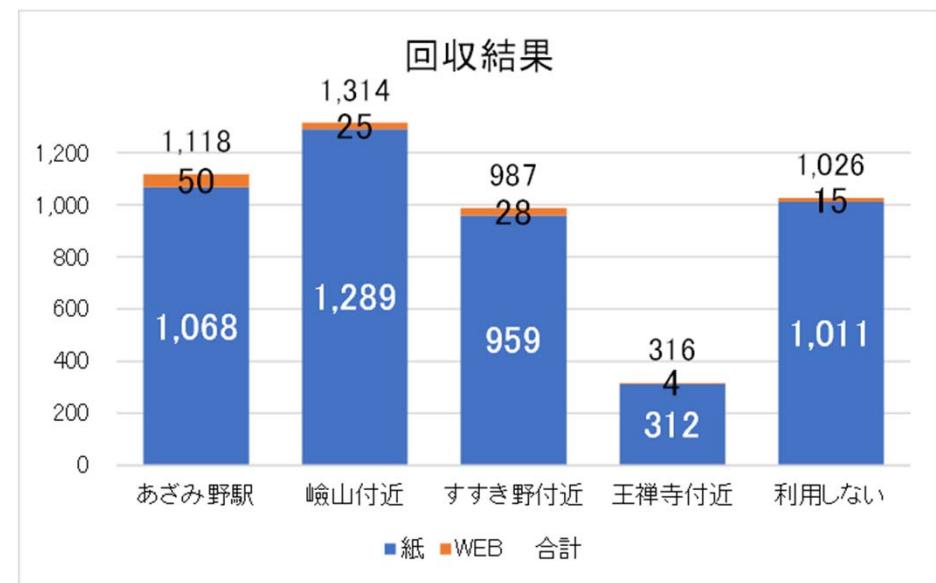
このうち、延伸後の新駅すすき野周辺の利用想定回答者は、約1, 000人分

調査：日常の交通行動 ※現在集計・分析中

その他の情報（世帯類型別の回収結果、延伸後の利用想定駅、個人属性、最寄り駅、新駅に期待する機能等）



世帯類型別回収結果



延伸後に利用が想定される駅